

# 情報活用能力の育成を支える学校図書館とICTの活用

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課／ICT教育推進局ICT教育推進課

将来の予測が難しい今日の社会においては、情報を適切に活用する力が求められています。学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力の一つとして**情報活用能力**が位置付けられており、各教科等の特質に応じて、適切な場面で育成していく必要があります。

こうした資質・能力の育成には、学校図書館の機能を充実させることはもとより、ICTの活用との融合を図り、学習環境の整備と指導方法の工夫・改善を進めることが大切です。

本資料では、これからの学校図書館の整備の工夫や授業での活用について、ICTを活用する事例を掲載しましたので、各地域や学校の実態に応じて、是非御活用ください。



## ◆ 情報活用能力とは・・・

世の中の様々な事象と情報をその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力

## 1 「GIGAスクール」時代の学校図書館

「学校図書館を活用した学び」と「ICTを活用した学び」を効果的に組み合わせることにより、実践的で質の高い情報活用能力の育成を推進することができます。

### 学校図書館



#### 情報活用能力の育成に向けた活用例

- ▶ 図書のほか、新聞やデジタル資料を含む各種資料などの情報の収集
- ▶ 著作権の取扱いについての指導
- ▶ 司書教諭や学校司書による専門的な指導や支援

### 1人1台端末等のICT環境



#### 情報活用能力の育成に向けた活用例

- ▶ インターネット上の情報の閲覧・検索
- ▶ 表やグラフなどを用いたプレゼンテーションの作成
- ▶ クラウドサービスを用いた情報の共有など

- ICTの活用と学校図書館を融合した事例へ
- 2 学校図書館におけるICT環境の整備
- 3 学校図書館とICTの効果的な授業等での活用

学校図書館でICTも活用し、紙の書籍とデジタル情報を組み合わせて学習できる環境づくりを行っていきましょう。



①



### 学校図書館のスペースや 机の配置などを工夫した事例

この学校では、学校図書館(「図書・メディア室」)の中に端末を用い情報を収集することができるスペースがあり、多様な学びを支える環境がつくられています。

【写真① 茨城県つくば市立みどりの学園義務教育学校】

②



③



この学校は、空いている壁面を大型スクリーンとして活用し、1人1台端末のデータを映すことができるようにしたり、学校図書館に大きな机を設置して、端末と書籍を一緒に置くことができるスペースを確保したりする工夫がなされています。

また、自校の学校図書館の蔵書や電子書籍の検索機能を児童生徒用の1人1台端末に設定し、学校図書館の資料をすぐに活用できるようにしています。

【写真②③ 東京都 中央大学附属中学校・高等学校】

出典:「GIGAスクール環境と1人1台端末を活用した一人一人を大切に  
する授業づくり」(学校の取組例)(文部科学省)  
「図書館実践事例集」(文部科学省:令和2年3月)

児童生徒の1人1台端末とつながるプリンターを学校図書館に設置することも効果的です。

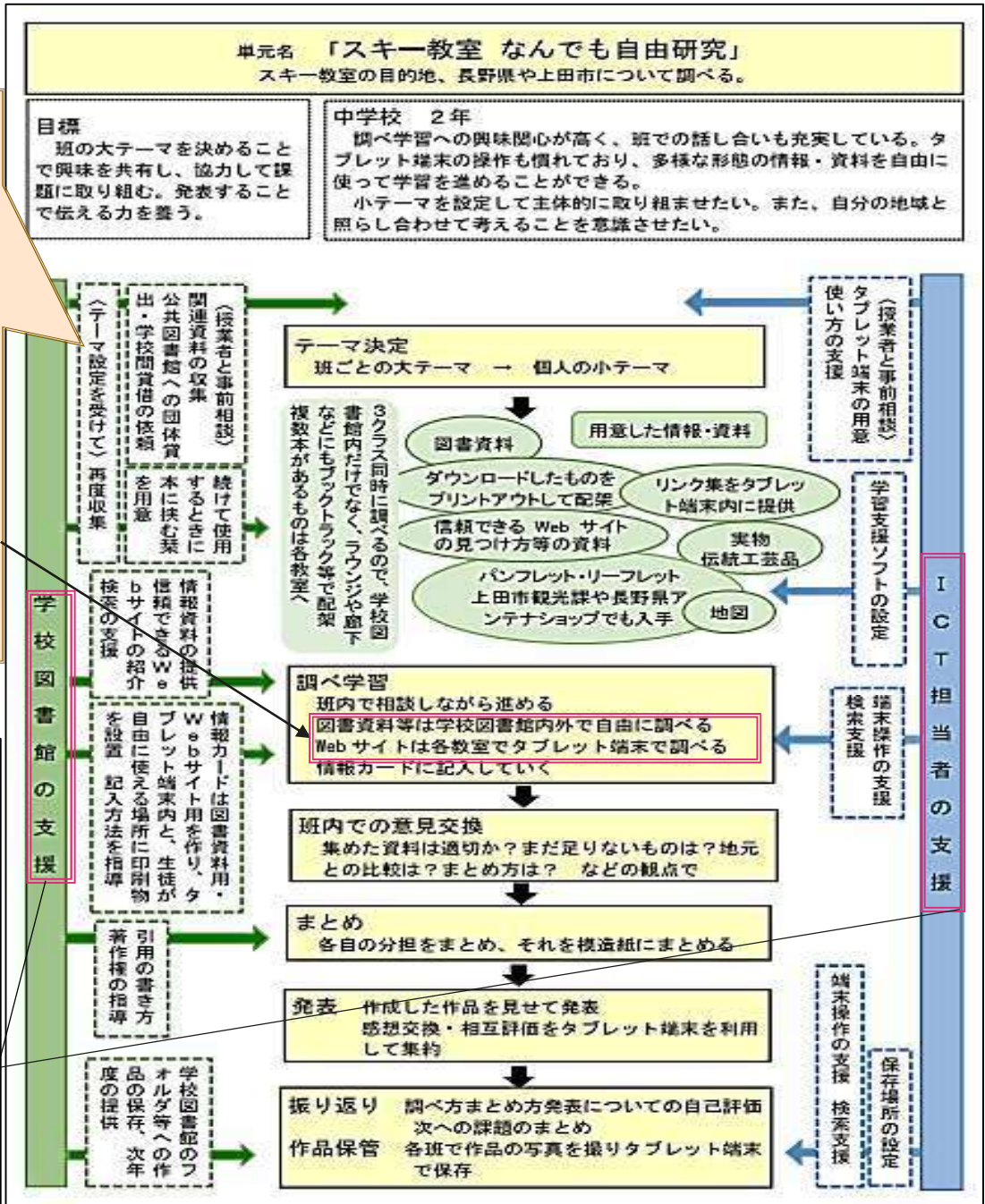
道内では、コンピュータ室と学校図書館とを一体化した環境を整備している学校もあります。

## ○ 整備のポイント

- 今、学校にあるものを組み合わせましょう。
- 学校図書館でICTを活用できるようにしましょう。
- 学校図書館の蔵書検索の機能やリンク集を児童生徒の1人1台端末からアクセスできるように設定し、児童生徒がいつでも様々な資料や情報を検索できるようにしましょう。



児童生徒が学校図書館の資料とICTを活用して、情報活用能力が育成されるよう、学校全体で人的・物的資源を効果的に組み合わせた授業づくりを進めましょう。



学校図書館の資料では不足する場合は、公立図書館と連携をして、必要な資料を借り受け、電子書籍と紙媒体の資料を組み合わせることも効果的です。

学校司書とICT支援員、司書教諭とICT担当教諭が、それぞれの強みを持ち寄り、連携・協働体制が構築されています。

- 授業での活用のポイント
- 児童生徒が主体的に様々な資料を活用できる体制を整備しましょう。
  - 公立図書館との連携により、各種資料等を児童生徒が活用できるようにしましょう。

出典：「第2回情報活用授業コンクール」リーフレット



公益社団法人全国学校図書館協議会  
情報活用授業コンクールHP

## 4 情報活用能力の育成に向けた学校図書館とICTの活用ポイント



児童生徒が、学校図書館とICTを組み合わせ、情報を効果的に活用して、学びを深めることができるよう、次のようなポイントで取組を進めていきましょう。

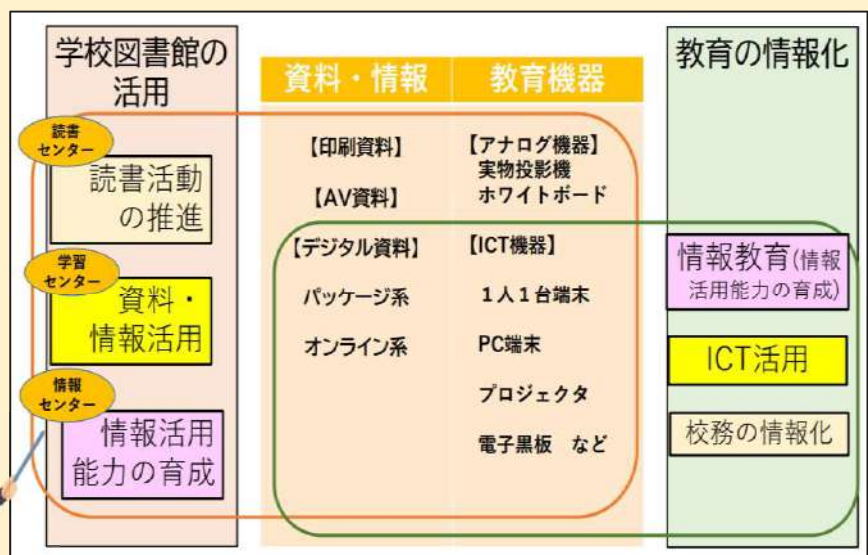
### ■ 取組のポイント

参考：文部科学省「学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力の育成」を一部抜粋

- **学校図書館の現状を把握しましょう。**  
⇒ 整備等で困ったときは、公立図書館等へ相談していきましょう。
- **アンケート等を実施し、児童生徒の情報活用能力の状況を把握しましょう。**  
⇒ 児童生徒の実態を各種調査等で把握し、課題等を整理しましょう。
- **各教科等でどのような情報活用能力を育てているのか確認しましょう！**  
⇒ カリキュラム・マネジメントの視点で、学校図書館とICTの活用場面を検討しましょう。
- **学校で育てたい情報活用能力の共通理解を図りましょう！**  
⇒ 学校で育成を目指す児童生徒像を踏まえ、必要な取組を全校で共有しましょう。
- **情報活用能力の育成に係る計画に、学校図書館の活用を位置付けるなど、具体的な実践を検討しましょう。**  
⇒ 各学校の実践を、意図的・計画的に進めることができるようにしましょう。
- **学校図書館とICTの活用について実践を共有しましょう！**  
⇒ 先生方のよい実践を共有し、効果的な方法を学校全体に広げましょう。
- **先進校や先進地域の資料を見たり、可能であれば、視察に行くなどして、自校の取組に生かしていきましょう！**  
⇒ 児童生徒のためによりよい実践を創出し、評価・改善していきましょう。

■ 学校図書館とICTを効果的に組み合わせ、児童生徒の**情報活用能力の育成**を図るとともに、**各校の既存の学校設備を十分に活用できる体制整備を進めていきましょう。**

右の表は、「学校図書館の活用」と「教育の情報化」を校内で効果的に組み合わせるための視点を図式化したものです。



参考：文部科学省「令和3年度学校図書館担当指導主事連絡協議会資料」より一部抜粋

## 「情報活用能力の育成を支える学校図書館とICTの活用」

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課  
北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課  
令和6年3月4日発行

## 令和5年度学校図書館担当職員講習 実施要項

### 1 目的

学校図書館法第6条第1項及び第2項に基づき、学校図書館の利活用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員（学校司書）の養成に係る基礎講習を実施し配置促進に寄与するとともに、本道における学校図書館を担当する職員等の資質向上を図る。

### 2 主催

北海道教育委員会

### 3 対象

道内在住の学校司書、学校図書館を担当する職員（事務職員、実習助手等）・支援員等、図書館ボランティア、PTA等

### 4 定員

100名程度

### 5 講習期間及び日程等

- (1) 令和5年（2023年）7月26日～10月19日（各講義実施日約2週間後から、順次オンデマンド配信(令和6年1月末まで受講可能)）
- (2) 日程 ※ 詳細は別紙1講習概要で御確認ください。

実施日	講習名 【時間数】	内容
7/26（水）、 /31（月）	I 学校図書館基礎講習 【6時間】	1 学校図書館の理念と教育的意義 2 教育行政と学校図書館 3 学校図書館の経営 4 学校図書館の施設・設備 5 学校図書館メディアの種類と管理、提供 6 学校図書館活動
8/9（水）、 /16（水）	II 図書館資料・情報の管理と活用講習 【4時間】	1,2 コレクションの形成の理論と方法①② 3 情報技術と現代社会、情報資源の発達と図書館サービス
8/22（火）、 /28（月）	III 学校図書館担当職員が知っておきたい学校教育 【4時間】	1 学校教育の意義と目標、学習指導要領等 2 児童生徒の心身の発達と学習過程 A（乳幼児～小学生）又はB（中学生～高校生） 3 特別支援教育の現状と課題 4 現代の学校と地域課題
9/12（火）、 /15（金）、 /21（木）	IV 学校図書館サービス力向上講習 【6時間】	1,2 学校図書館の環境整備①②、広報・渉外活動 3,4 ガイダンス、レファレンス①② 5 児童生徒及び教職員への各種支援

実施日	講習名 【時間数】	内容
9/27 (水) 10/2 (月)、 /12 (木)、 /19 (木)	V 学習指導・読書指導 技能向上講習 【8時間】	1 読書の意義と目的、子どもの読書活動の推進 2 発達段階に応じたメディアの選択、情報活用能力の育成 3 子どもの本の理解、評価 A (小学生) 又はB (中学生～高校生) 4,5,6 児童生徒と本をつなぐ方法①②③ (読み聞かせ等、電子図書館、ブックトーク、地域とつながる活動等) 7,8 児童生徒と本をつなぐ方法④⑤ (学習支援、授業の実践事例)

※オンデマンド配信:Zoom 実施日約2週間後～1月末迄

## 6 受講科目の免除

司書資格、司書教諭資格を取得済みの方については、次の講習内容を免除することも可能です。(同内容科目を受講済みの場合)

この場合、修了認定までに、取得済み資格に関する単位認定(修得)証明書の写しを送付してください。

なお、資格取得済みであっても、長年学校図書館や公立図書館等の業務に従事していない場合は、全ての内容を受講するようにしてください。

〔免除可能とする講習内容〕

- ・司書資格を有する者・・・I-5、II-1,2、IV-3、V-1,3,5
- ・司書教諭資格を有する者・・・I-2,3,5,6、II-1、III-1,2、IV-3、V-1,2

## 7 講習の実施方法

Web会議システム Zoom によりオンライン(同時双方向型)で受講していただきます。

※ 都合により受講できなかった講座については、後日オンデマンドでの受講も認めます。

※ 資料配付や講習開始後の連絡事項及びオンデマンド受講については、道教委のアカウントを利用した Google Workspace for Education 内の「Google Classroom」を使用しますので、受講を申し込まれる際には、受講環境について事前に確認をお願いします。(別紙2「オンライン受講環境について」を参照の上、申し込んでください。)

※ 受講方法の詳細については、受講者決定後に直接本人あてメールにより通知します。

## 8 受講申込み手続き

### (1) 提出書類

ア 様式1「学校図書館担当職員講習受講希望申込書」

イ 様式2「受講承諾書」(学校や図書館の職員が所属長の承諾を受け、職務として受講する場合)

### (2) 提出先及び提出期限

ア 提出先

道立学校の職員等は当該学校長に、市町村立学校及び図書館の職員等は市町村教育委員会に提出してください。

#### イ 提出期限

道立学校長及び市町村教育委員会が指定する日

(3) 道立学校長及び市町村教育委員会は、受講希望者を取りまとめの上、受講申込者名簿（様式3）及び（1）の提出書類を6月23日（金）までに所管の教育局あて提出してください。

(4) 各教育局は、管内分の受講希望者を取りまとめの上、受講申込者名簿（様式3）及び（1）の提出書類を、6月30日（金）までに12の担当者あて提出してください。

#### 9 受講者の決定及び通知

当課において受講者を決定し、7月上旬までに通知します。決定した方には、オンライン受講のためのID、パスコード及びGoogleのID、パスワードをお知らせします。

なお、受講申込みが定員を大幅に超えた場合は、受講できない場合がありますので、あらかじめ御承知おきください。

#### 10 修了認定について

本講習のI～V全講習を受講し、全ての受講内容ごとのリフレクションシートの提出により履修状況等を確認できた方には、本講習の修了を認定し修了証を交付します。（送料は原則自己負担）

#### 11 受講に要する経費

受講料は無料です。ただし、オンライン接続に係る通信料、受講承諾書及び修了証の送付に係る経費は原則自己負担となります。

#### 12 お問合せ先

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課地学協働推進係 伊藤、横地

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館8階

TEL：011-204-5744（係直通）／ 011-231-4111（内線35-521）

FAX：011-232-2236

E-Mail：itou.kanako@pref.hokkaido.lg.jp

#### 13 留意事項

(1) 学校に勤務する「教諭」については、学校図書館の専門的職務に携わる学校図書館司書教諭を養成するための講習の受講を想定しているため、本講習の修了認定の対象としていませんが、受講者のいる学校においては、校長、司書教諭、教諭が必要な内容について、校内で共有し、学校図書館の組織的な運営の参考にしていただくようお願いします。

(2) 講習期間中は、受講に必要な資料や物品について「Google Classroom」で連絡することがありますので、あらかじめ御承知おき願います。

## 令和5年度学校図書館担当職員講習日程表

講習名	月日	時間	時間(分)	内容・テーマ	実施方法	講師
I 学校図書館基礎講習	7月26日(水)	13:20-14:20	60	1 学校図書館の理念と教育的意義	講義	放送大学 客員教授 堀川照代氏
		14:30-15:30	60	2 教育行政と学校図書館	講義	全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー 野村邦重氏
		15:40-16:40	60	3 学校図書館の経営	講義	
	7月31日(月)	13:10-14:10	60	4 学校図書館の施設・設備	講義	学校図書館スーパーバイザー 佐藤敬子氏
		14:20-15:20	60	5 学校図書館メディアの類型と管理、提供	講義	学校図書館スーパーバイザー 大久保雅人氏
		15:30-16:30	60	6 学校図書館活動	講義	学校図書館スーパーバイザー 佐藤敬子氏

小計 360 (6時間)

講習名	月日	時間	時間(分)	内容・テーマ	実施方法	講師
II 図書館資料・情報の管理と活用講習	8月9日(水)	13:20-14:50	90	3 情報技術と現代社会 情報資源の発達と図書館サービス 図書館業務システムのしくみ	講義・演習	藤女子大学 准教授 平井孝典氏
		15:00-16:15	75	1 コレクション形成の理論と方法①	講義	北海道学校図書館協会 前選定部長 山本裕子氏
	8月16日(水)	15:00-16:15	75	2 コレクション形成の理論と方法②	講義・演習	

小計 240 (4時間)

講習名	月日	時間	時間(分)	内容・テーマ	実施方法	講師
III 学校図書館担当職員が知っておきたい学校教育	8月22日(火)	13:10-14:10	60	1 学校教育の意義と目標 教育課程の意義と学習指導要領、教科書 教育方法・学習形態の諸類型	講義・交流	北海道教育庁生涯学習推進局 社会教育課主査 横地康恵
		14:20-15:20	60	2 児童生徒の心身の発達と学習過程 A:乳幼児～小学生	講義	北海道教育大学札幌校 教授 戸田まり氏
		15:30-16:30		B:中学生～高校生		
	8月28日(月)	14:20-15:20	60	3 特別支援教育の現状と課題	講義	専修大学 教授 野口武悟氏
		15:30-16:30	60	4 現代の学校と地域課題	講義・交流	北海道教育庁生涯学習推進局 社会教育課主査 国枝知

小計 240 (4時間)

講習名	月日	時間	時間(分)	内容・テーマ	実施方法	講師
IV 学校図書館サービス力向上講習	9月12日(火)	13:20-14:20	60	3 ガイダンス、レファレンス①	講義	札幌聖心女子学院中学校・高等学校 図書館 司書
		14:30-16:00	90	4 レファレンス②	講義・演習	北海道学校図書館協会 研究部 新田裕子氏
	9月15日(金)	13:20-14:20	60	5 児童生徒への読書支援・学習支援、教職員への支援	講義・事例紹介	札幌市立手稲中学校・星置中学校 学校司書 浅村麻姫子氏
	9月21日(木)	13:45-15:00	75	1 学校図書館の環境整備①(除架・除籍・補修)	講義・演習	北海道立図書館職員
		15:15-16:30	75	2 学校図書館の環境整備②(展示・掲示)広報・渉外活動	講義・交流	札幌市立栄町中学校 学校司書 児玉優子氏

小計 360 (6時間)

講習名	月日	時間	時間(分)	内容・テーマ	実施方法	講師
V 学習指導と読書指導力向上講習	9月27日(水)	14:20-15:20	60	1 読書の意義と目的 「子どもの読書活動」の推進	講義	札幌市立北郷小学校 司書教諭 山田佳子氏
		15:30-16:30	60	2 発達段階や個に応じた図書館メディアの選択 学校図書館メディア活用能力の育成	講義	札幌市立手稲中学校・星置中学校 学校司書 浅村麻姫子氏
	10月2日(月)	14:00-15:00	60	3A 子どもの本の理解・評価① A:～小学生	講義	絵本屋南風書店 店主 JPIC読書アドバイザー 出町南氏
		15:10-16:10	60	6 児童生徒と本をつなぐ方法③ さまざまな方法(地域とつながる様々な読書活動)	講義	滝川市立図書館 館長 深村清美氏
	10月12日(木)	14:00-15:00	60	4 児童生徒と本をつなぐ方法① さまざまな方法(読み聞かせ、電子図書館等)	講義・演習	この本だいすきの会帯広支部 帯広市図書館 事務員(司書) JPIC読書アドバイザー 沼田陽子氏
		15:10-16:10	60	5 児童生徒と本をつなぐ方法② さまざまな方法(ブックトーク)	講義・演習	
	10月19日(木)	13:10-14:10	(60)	3B 子どもの本の理解・評価② B:中学生～高校生	講義	北海道学校図書館協会 前選定部長 山本裕子氏
		14:20-15:20	60	7 児童生徒と本をつなぐ方法④ 学習支援(パスファインダー)	講義	全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー 佐藤敬子氏
		15:30-16:30	60	8 児童生徒と本をつなぐ方法⑤ 学習支援、授業の実践事例	講義	

小計 480 (8時間)

総計 1680





# 道立図書館の学校向けサービス〈小・中学校版〉

学校からも直接申込みができる事業があります！

申込方法 凡例

- ◎学校から申込み
- ★市町村立図書館等を通して申込み
- (無印)どちらも可



古い本を整理したいけど…

学校図書館環境改善  
をオススメします



研修会を企画したい！

学校図書館講師派遣  
をご活用ください



探究学習の資料を  
充実させたい！

各種支援貸出事業があります



はじめての図書担当で…

まずは電話・メール  
でご相談ください

## 1 学校図書館支援事業

### 学校図書館環境改善

学校図書館の運営や子どもの読書活動の推進について、道立図書館の司書が学校に伺って助言や情報提供を行います。

### 学校図書館講師派遣

教職員やボランティア、児童生徒(図書委員会・図書局等)向けの研修会や勉強会等の講師としてお伺いします。

### 学校図書館運営相談

学校図書館の運営全般について、助言や情報提供、事業企画の支援を行います。

ご相談の内容にあわせ、資料(情報)提供やリモート等に対応します。



### 環境改善の例

ご相談 | お悩みや課題の確認

学校訪問

環境改善についてのガイダンス(1時間程度)

現状と今後の方針の確認

除籍やレイアウト変更、展示コーナー作成等、課題に応じたワークショップ(1.5~3時間程度)

### 学校ブックフェスティバル★

学校に道立図書館の児童書・絵本を提供し、おはなし会を実施して、児童生徒に読みたい本を自由に選んで借りてもらう事業です。

日ごろ読書に親しむ機会が少ない子どもたちも、友だちや先生と一緒に楽しんで本を選ぶことができ、熱心に読書を始めます。

## 2 支援貸出事業

### サポートボックス

学校の朝読や調べ学習等で活用できる本をセットで貸し出します(セットにより2~5か月間)。選書の参考になるセットも用意しています。

セット一覧
<b>NEW!! 図鑑セット</b> 大きな文字の青い鳥文庫 アイヌ文化はじめてセット 文化歴史ボックス／自然ボックス 小学国語セット(小3~小6向き) 中高生ノンフィクションセット / 小説セット 体力向上・スポーツボックス 朝読・昼読ボックス 仕事ナビボックス 食育ボックス 理科読セット

### 事業貸出し

イベント用や授業教材としてご利用いただける資料を貸し出します。イベントや展示、調べ学習などにご活用ください。

※貸出期間は基本1か月程度。応相談。

事業貸出し用資料【内容の一部】	
大型絵本 しかけ絵本セット エプロンシアター 紙芝居 縄文文化セット SDGsセット アイヌ文化探究セット 防災・防犯セット	外国語絵本 おはなし迷路 パネルシアター 大型紙芝居 バリアフリーセット

### 大量一括貸出し★

まとまった数の図書を、数か月単位で貸し出します。本選びは道立図書館にお任せいただきます。

貸出期間 1~6か月が基本

貸出冊数 100~300冊/回



### 学校図書館協力貸出し<sup>Ⓞ</sup>

道立図書館で一般に貸し出している資料(一般資料・北方資料)を、学校図書館に直接、約1か月間貸し出します。

借りたい本が決まっている時、テーマにそった本を探している時のご利用がオススメです。

### 詳しくはこちら！ 道立図書館ホームページ

図書館活動支援事業案内(事業の詳細や資料リスト、申込様式はこちら)

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/about/qji1ds0000000td2.html>

学校の先生方へ(学校向け事業や図書館見学、インターンシップはこちら)

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/school/qji1ds0000000p7x.html>



### 申込み・問合せ先

## 北海道立図書館 総務企画部企画支援課

TEL 011-386-8521(代表) / FAX 011-386-6906

Email [shienka@library.pref.hokkaido.jp](mailto:shienka@library.pref.hokkaido.jp) (企画支援課 事業全般)

[for-gakko@library.pref.hokkaido.jp](mailto:for-gakko@library.pref.hokkaido.jp) (学校図書館協力貸出し)